

第 5 学年 体育科学習指導案

1 本時の主張

本学級の子どもたちは、ボールを投げるゲームを好意的にとらえている。その中で、ボールを捕り、しっかりとパスを成立させたいという思いをもっている。また、守りが周りにいない人がパスをもらいやすいということは頭では理解している。

しかし、自分が動く時にはボール保持者の近くによってパスをもらおうとする傾向があり、ゴールをするために意図的に守備者のいないところへ動き、パスを受けることができる子は少ない。

本時では、パスをもらいやすい場所（以下パスゾーンと記す）を見つけることを学習課題として学習を進める。パスゾーンとは、自分とボールの間に守りがいない場所、あるいはゴールに向かうことを前提として、守備者の後ろや守備者同士の間など空いているスペースのことと定義する。

具体的には、以下のような過程で授業を行う。

- (1) 守備者の位置にあわせたパスゾーンの位置が分かる。(分かる)
- (2) ゲーム①の中で試した後に、パスゾーンに動いたがパスが繋がらなかった場面を挙げその原因を考える。(分かる→できる)
- (3) ゲーム①での動きを修正し、ゲーム②にいかす。(できる)

そのために、〈手だて1〉場所を見つけるという明確な課題の設定と、それを追求するゲーム構成、〈手だて2〉時間差をつけた4対2のゲームの2つの手だてを講じる。2つの手だてにより、ボールを持たない時に意図した動きによってボールを受けてパスをつなぎ、その嬉しさを感じながらゲームをさらに楽しむ子どもの姿を期待したい。

2 単元名

パスをつないでゴールを目指せ！（ハンドボール型ゲーム）

3 本時のねらい（3時間目/全8時間）

パスゾーンに動いてボールを受けようとしたり、その状況にある人にパスをしたりすることができる。
(技能)

4 本時の手だて

〈手だて1〉 場所を見付けるという明確な課題の設定

本学級の子どもたちは、守備者の位置にかかわらず味方（ボール保持者）の近くでボールを受けようとする傾向にある。

そこで本時では、パスをもらいやすい場所をパスゾーンとし、それを探すことを課題として学習を進める。

初めに、どこがパスゾーンになるのかを全員に考えさせる。また、それは一定の場所ではなく守りの位置によって変化することも押さえる。そうすることで、子どもたちには、いつも味方（ボール保持者）の近くにパスゾーンがあるわけではないということを気付かせたい。

さらに、状況が刻々と変化する実際のゲームの中ではパスゾーンはどこになるだろうと課題意識を高め、意欲的にゲームに取り組ませる。

〈手だて2〉 時間差をつけた4対2のゲーム

課題が明確になっても、一旦ゲームが始まって夢中になり、視野が狭くなれば、ボールに寄ってしまうことが予想される。

そこで、4人の内2人をコート外から時間差をつけてコートの横から入らせる。横から入る2人は、ゲームを外から見るができることで、守備者の位置を確認したりパスゾーンを探したりすることが、少し余裕をもってできるだろう。また横からコートに入ることは、パスゾーンに速く到達することを可能にすると考えられる。これらのゲームを通して、パスゾーンへの動きを多く経験することができる。

5 本時の展開

学習内容・時間	主な教師の働き掛けと児童の反応	指導上の留意点と評価
1 ドリルゲーム (3分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ボールキャッチゲームで、捕ることに慣れましょう。 </div> <p>C 前回よりもたくさんパスをまわそう。 C しっかりパスをカットするぞ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの実態や本時のゲームから動いて捕ることに重きをおいた運動(鳥かごパスゲーム)をする。 • チームごとに行う。
2 課題をとらえる。 (4分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 前のゲームでは、パスがつながりにくいチームもありましたね。今日はパスがつながりそうな場所、パスゾーンを探しましょう。 </div> <p>C そこはパスゾーンになりそうだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> (図の守りの位置を動かして) 守りが動いたらパスゾーンはどこになるでしょう。なぜ<u>パスゾーンは、いろいろ変わっていくのだ</u>と思いますか。 </div> <p>C 守りの人の位置が変わると、同じパスゾーンにいてもつながらないな。 C 守りの場所がこっちになったら、違うところがパスゾーンになるんだ。守りの位置でパスゾーンは変わっていくんだな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> パスゾーンは守りの位置でいろいろ変わっていくのですね。では、今日は横から入る人が、守りの場所を見ながら、パスゾーンを見つけて、パスを通しましょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 黒板上のコート図で、「ここはどうか」「こちらはどうか」と聞き、例示していく。 • 自分とボールの間に守りがいない場所がもらいやすい場所(パスゾーン)であることをとらえさせる。 • ボール保持者の後ろや守備者の間であっても、守備者にカットされず、ゴールに向かうという意図があればパスゾーンをとらえる。 • パスゾーンとは、守備者の場所によって変わり、その動きや位置を判断することで決まることを押さえる。
3 ゲーム① (15分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> これからゲームを始めます。時間は3分です。どこがパスゾーンか探しながら、パスをつないでたくさんゴールしよう。 </div> <p>C よし、守りの場所を見ながら、パスゾーンを探そうぞ。 C いいタイミングでパスゾーンに走り込んで、ボールを持っている人からちゃんとパスをもらおう。 C パスゾーンにいる人を見つけて、ちゃんとパスをつなごう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ゴールした後、横から入る児童、守備者はそれぞれ交代させる。 • 横から入る児童は、ゲーム開始後5秒を目安にして、中央の決められた場所から、自分のタイミングでコートへ入らせる。 • 1試合が終わったら、チームボードをチームの必要に応じて使わせ、話し合わせる。 • 見ている子どもたちは、パスゾーンに関わる具体的な声掛けをさ

		せ、後から入る児童に声掛けできていた児童を賞賛する。
4 ゲーム① の修正 (5分)	<p>パスゾーンは見付けられましたか。パスが通っていたところが多かったですね。では、通らなかった人はいますか。<u>なぜパスが通らなかったと思いますか。</u></p> <p>C パスゾーンに入っていたけれど、敵の近くにおいてパスを出したらとられてしまった。</p> <p>C 遠くのパスゾーンにいたから、パスを出せなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • パスがつながらなかった場面を発表させる。守りとの距離がどうであったか、そのパスゾーンでよかったかについて、つながらなかった原因を全員で考えさせる。 • 初めに使った図を用いて考えさせていく。
5 ゲーム② (15分)	<p>ゲーム②を始めます。今考えたことを生かしながら、守りを見てパスゾーンを探しましょう。では、パスをつないでたくさんゴールしよう。</p> <p>C 今度はパスゾーンの中でも、いい場所を選んで入ってみよう。</p> <p>C 守りの動きを見て、守りから離れたところでパスをもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ゲーム①と同じルールで行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価】（運動に対する技能） 守備のいない場所へ走り込んだり、味方の動きに合わせてパスを出したりすることができたか。（活動の様子）</p> </div>
6 振り返り (3分)	<p>パスがつながりそうな場所は、どんな場所でしたか。</p> <p>C ボールを持っている人と自分の間に守りがいないところ。</p> <p>C 守りが遠くにおいて、ボールをカットされないところ。</p> <p>C 自分の前や近くに守りがいないところ。</p>	